

おおくす



渋川小 HP の QR コードです



「明るく」と「強く」の力を高めた子どもたち

校長 水谷 茂樹

1学期の始業式に、校訓の4つの言葉と「めざす子ども像」の話をし、その中でも先ずは、「明るく」である「明るくあいさつのできる子」の力をこれまで以上に高めていきたいと思いますと話したことを、4月の学校だよりでお伝えしました。

<校訓>

【明るく】

【清 く】

【正しく】

【強 く】

<めざす子ども像>

「明るくあいさつのできる子」

「思いやりとやさしさにあふれる 清い心の子」

「自ら学び、深く考え、正しく判断できる子」

「健康で、心身ともに強くたくましい子」



朝、正門や校舎の前で子どもたちを迎え、「おはようございます」と声を掛けると、元気な声のあいさつをたくさん聞くことができました。中には、遠くから私の姿を見つけて、大きな声であいさつをする子や、1年生で「校長先生、おはようございます」と丁寧にあいさつをする子もいて、気持ちの良い朝の空気を感じることができ、本当に嬉しく思いました。

1学期の途中からは、児童会の役員の働きかけにより、月・水・金曜日の登校後に正門で「あいさつボランティア」をたくさんの子がするようになりました。日増しにあいさつを交し合う声が多く聞かれるようになり、「地域あいさつ運動」で来校された方や、草取りボランティアで来校されたシルバークラブの方から、「あいさつができる子が増えましたね」「あいさつをしてもらってエネルギーをもらいました」とお褒めの言葉をいただきました。



また、朝だけではなく、廊下や階段ですれ違う時に、「こんにちは」とあいさつをする子も増えました。子どもたちは、これまで以上に「明るく」に関わる力を高めることができたと思います。

1学期の途中からは、「強く」である「健康で、心身ともに強くたくましい子」の力も伸ばせると良いですねと子どもたちに伝えました。全体的に見て、病気で休んだり早退したりする子は昨年度よりも少なく、1学期に新型コロナウイルスやインフルエンザで欠席をする子はいませんでした。熱中症にならないように気をつけながら外で遊ぶ子、体育委員が「体19の日」に



企画した運動に参加する子、できないことがあっても諦めずに何回も挑戦している子、「校長先生、私、7回目の漢字テストでやっと合格することができた」と嬉しそうに報告してきた子、野外活動の光の舞の担当となり、粘り強く練習して見事に演舞した子など、様々な場面で「強く」に関わる力を高めている子を見ることができました。

2学期も、どんな力を高めてくれるかが楽しみです。

